

する為の無駄な行政経費の節約など、伊万里市のまちづくりに参考にするべきものが多いにありました。

### ●武雄市の定住促進事業の取り組みについて

武雄市は平成18年3月に1市2町が新設合併し、人口約5万2千人の山間に囲まれた市であります。

平成16年、市内に事業所をおく団体が「この町に住んでみませんか」などと定住活動も初めましたが、一般の団体では問題点があることから、平成20年度から行政が「定住特区補助制度」と「空き家バンク制度」を併せた施策を展開しています。

### ●定住特区補助制度の概要について

- ・新築される世帯主に定額補助35万円、定額奨励金、世帯員一人に対して10万円。
- ・空き家を購入する時には、定額補助金5万円、定額奨励金世帯員一人10万円
- ・コーポラティブで新築する場合加算額10万円、義務教育終了前の子供一人に5万円。

・転入と同時に企業を起こす場合10万円。

現在までの実績は、19年度7世帯20人、20年度6世帯14

人でありました。

## 議会だより 編集委員会

去る6月29日・30日の2日間、岩手県一関市および金ケ崎町の議会報について、議会だより編集委員6名全員による先進地視察研修を行いました。

### ●一関市について

一関市は、岩手県の南端に位置し、面積1千133.10km<sup>2</sup>（本市の約2.8倍）、人口

12万1千790人（本市の約1.7倍）です。

議会報編集について、議会報発行規定を定め、議会の議決により設置される一関市議会報特別委員会を設置し編集を進めています。編集委員は、各会派から選出された11名（※南相馬市は各常任委員会から2名ずつ、合計6名）により構成されています。

本市の議会報と比較し特徴的なことは、一関市は平成17年9月、1市4町2村が合併したことから、地域の一体感を図るため、表紙写真については、各地域でのイベント写真（3ヶ所程度）を掲載しています。また、市民の声としての「新一関市に期待します」についても、地域別に3名の方に原稿を依頼し掲載しています。一般質問については、顔写真入りの一人504字以内（本市は429字）となっており、

### 市議会だより本号の編集風景

●金ヶ崎町について  
金ヶ崎町は、岩手県南西内陸部、北上市と奥州市の

間に位置し、面積179.77km<sup>2</sup>（本市の約0.45倍）、人口1万6千396人（本市の約0.23倍）です。

議会報編集について、金ヶ崎町議会広報編集要領を定め、議会広報編集特別委員会を設置し編集を進めています。編集委員は、議長指名による7名により構成されています。

「議会だより金ヶ崎」は、全国町村議会広報コンクールで3年連続優秀賞を受賞しており、今回の訪問で今年度4団体目（昨年度11団体）とのことでした。さらに毎年2回、広報に関する研修会に参加し編集の技能向上のための勉強を重ねていることから、見出し・記事・写真などをバラ

スよく掲載しており、誰が見ても大変わかりやすく読みやすい紙面になっています。一般質問については、顔写真入りの一人700字以内となっています。今回の視察研修から、先進地の良いところを取り入れて、今よりもっとわかりやすく読みやすい議会だよりを編集していきたいと思えます。



金ヶ崎町での研修

# 平成20年度 政務調査費精算一覧表を公表します。

(南相馬市のホームページにも政務調査費の用途等について掲載してあります。)

## 政務調査費とは？

議員の調査研究のために必要な経費の一部として、会派（所属議員が1人の場合も含む。）に対して交付されるものです。

会派への交付額は次の基準で交付しています。

1月当たり1人 15,000円×当該月の会派の人員×月数

政務調査費の用途基準は次の表のとおりです。

項目	内 容
研究研修費	会派が研究会、研修会を開催するために必要な経費または会派に所属する議員が他の団体の開催する研究会、研修会に参加するために要する経費（会場費、講師謝金、出席者負担金、交通費等）
調査旅費	会派の行う調査研究活動のために必要な先進地調査または現地調査に要する経費（交通費、宿泊費等）
資料作成費	会派の行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費（印刷製本費、翻訳料、事務機器使用料等）
資料購入費	会派の行う調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
広報費	会派の調査研究活動、議会活動及び市の政策について市民に広報等をするために要する経費（広報紙、報告書印刷費、送料等）
広聴費	会派が市民から市政及び会派の政策等に対する要望や意見を聴取するための会議等に要する経費
その他の経費	上記以外で、会派の行う調査研究活動に必要な経費

## 平成20年度 政務調査費精算一覧表

(単位：円)

会派名	南相馬クラブ	高志会	市民クラブ	清心会	改革21	公明党 南相馬市議団	政友会	日本共産党 議員団	民政クラブ	無党派	
会派構成	湊 清一 平田 武 西 一信 小林チイ	高野光二 竹野光雄 小林正幸	寺内安規 今村 裕 五賀和雄	宝玉義則 白瀬利夫 坂本恒雄	櫻井勝延 小川尚一	志賀稔宗 土田美恵子	小林吉久 西 銃治	渡部寛一 郡 俊彦	横山元栄 田中一正	太田淳一	
収入内訳	収会派への 交付額	585,000	540,000	540,000	540,000	360,000	360,000	360,000	360,000	495,000	180,000
	預金利子	316	281	648	428	362	82	181	303	239	141
会派の収入合計(A)		585,316	540,281	540,648	540,428	360,362	360,082	360,181	360,303	495,239	180,141
内 訳	研究研修費	4,500	10,000	3,000	3,000	31,520	0	0	0	77,054	8,600
	調査旅費	569,598	247,164	470,142	379,732	247,164	382,732	247,164	0	370,746	248,002
	資料作成費	0	29,608	0	18,963	1,501	11,340	0	0	0	0
	資料購入費	24,900	29,600	0	38,970	0	4,200	5,170	0	0	10,000
	広報費	113,400	182,127	97,800	97,800	309,009	65,200	182,127	532,423	107,311	0
	広聴費	0	18,086	0	0	14,470	0	0	0	0	0
	その他の経費	0	0	0	0	0	0	0	136	0	0
会派の支出合計(B)		712,398	516,585	570,942	538,465	603,664	463,472	434,461	532,559	555,111	266,602
収支差し引き額 (A-B)		△127,082	23,696	△30,294	1,963	△243,302	△103,390	△74,280	△172,256	△59,872	△86,461
市への返還額(C)		0	23,696	0	1,963	0	0	0	0	0	0

※小林チイ議長は民政クラブに所属していましたが、平成20年12月2日から南相馬クラブの所属になりました。

※交付額を超える支出については、各会派の負担となります。